



2月

徳山工業高等専門学校

令和4年度 第9号

学生相談室便り gakusodan@tokuyama.ac.jp

相談室員(カウンセラー) 近 文彦

最近手にした本を読んでいて、私自身の不思議な体験の幾つかを思い出しました。私が大学生の頃、昼寝をしていて友人の夢を見ました。その昼寝を目覚めさせたのが私のアパートを訪ねてきたその夢に出てきた友人でした。夢の中で見た友人の行動とその日の現実の友人の行動とが完全に一致していたということがありました。物語のようですが、本当に起こった不思議な出来事です。こういう現象をユング心理学では「共時性(シンクロニシティ)」と呼んでいます。

手にしている本は読了していませんが、最先端量子科学の本です。最先端量子科学の知見と摩訶不思議な世界観というものが重なり合っていて見えてきます。

好奇心をくすぐられる時代となりつつありますね。



近カウンセラーに聞いてみた！
今年やってみたいことは、何ですか？



独学でギターをなんとなく弾いていましたが、
今年はプロギタリストが指導するギター教室に通いたいと思っています。
いつかブルースジャムセッションをやりたいからです。



あなたはユング派？フロイト派？



◎2月・3月◎カウンセラー・ソーシャルワーカーの来校日

相談は予約制です。

【保健室】hoken@tokuyama.ac.jp

まで、ご連絡ください。

星山 Co	14:00~18:00
近 Co	14:00~18:00
名村 Co	15:00~18:00
黒葛原 SW	16:00~18:00

2月

3月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4				1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11	5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18	12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25	19	20	21	22	23	24	25
26	27	28					26	27	28	29	30	31	

THE FIRST SLAM DUNK

「スラムダンク」は、井上雄彦氏による高校バスケットボールを題材とした漫画で、1990年から1996年にかけて週刊少年ジャンプ(集英社)で連載されました。昨年の12月に、映画「THE FIRST SLUM DUNK」が公開されたことで、原作を未読の世代にも知られるようになりました。(原作世代からすると)SLUM DUNKといえば…、

「最後まで…希望を捨てちゃいかん。諦めたら、そこで試合終了だよ。」

という安西先生の言葉があまりに有名ですが、私は、

『はいあがろう』

「負けたことがある」というのが いつか大きな財産になる』

という言葉が 30年近く経つ今もずっと記憶していました。

私たちの生活には、大なり小なり成功と失敗、勝ち負け、優劣等を意識せざるを得ない場面があります。でもそれは生きていくうえで必要な経験で、私たちは生きていくうえで大切なことをアニメや漫画でも知ることができます。少しネタバレになりますが、「スラムダンク」の最終巻は、セリフがほとんどないシーンが数ページ描かれています。何を感じ、想像し、記憶に残るかは、人それぞれです。

少し時間に余裕ができる長期休業に、まずは体を休め、そしてエンタメで心を癒してみてください。

#10 左手は添えるだけ

#14 あきらめの悪い男

田無神社

最後に… ～当たり前の日常～



「当たり前の日常に感謝しましょう」と世間では良く言います。しかし同じことの繰り返しの毎日では、なかなか気付くことが出来ないと思います。最近強く感じたのは、大寒波による新潟県の豪雪被害です。断水や停電により、極寒に耐えながら知恵を出し合って生活をつないでおられる方々を映像で観ました。それを自分に置き換えてみると、暖かい場所で食事をしていることがどんなに有り難いのだろうと思いました。

徳山高専の皆さんは、日常生活に感謝する心の余裕はありますか？

毎日ご飯が食べられるのは、ご飯を作ってくれる人のおかげです。学校にゴミがないのは、掃除してくれる人がいるから。年度末に振り返りをし「当たり前の日常」に思いを寄せてみてはどうでしょうか？そして、感謝の言葉を伝えることが出来たら最高ですね。